
ぼうけんにっき

芸熊

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ぼっけんにつき

【Nコード】

N7685M

【作者名】

芸熊

【あらすじ】

お題SS

お題：子供目線×工事現場

子供の頃の記憶をたどってみました。
意外とどんなことを考えてたか思い出せないもんですね…

ある夏の日に、ぼくはおもしろそうなところを見つけた。
学校からかえるとちゅうのところなんだけど、ぼくの家はとおい
から、みんなが見つけられないとこなんだ。

「明日からここをひみつきちにしよう。おやつもここでたべるんだ」

つぎの日は雨だった。

同じあめならたべれるあめがふってくればいいのになあ。

つぎの日も、またつぎの日も雨だった。

なんでまいにち雨がふってくるんだろう。

お母さんにきいたら、つゆだから、だって。

つゆって、そうめんのつゆかな。おそばのつゆかな。

なんだかおいしそう。

「雨、やまないかなあ」

家の中にいるのはたいくつだ。

テレビゲームをぼくはもってないからね。

みんなもってるのに、お父さんはかってくれないんだ。

目がわるくなるからだめなんだって。

つぎの日はひさしぶりに晴れた。

今日こそひみつきちに行くぞ。

学校からかえってきたら、おやつをもってダンパーとかがおい
てあるひみつきちに行くんだ。

今日のおやつはなんだろう。

クッキーかな。

チョコかな。

はしってかえろっ。

「ただいまー」

「おかえりー、今日はアイスとクッキーよー。手洗って食べなさい」

「うん、いつてきまーす」

「どこいくのー」

アイスをたべながら、ぼくはひみつきちにはしる。

クッキーはティッシュでつつんで、ポケットに入れた。ががが、って音がきこえてきて、ひみつきちが見えた。

「こら、ぼうず。あぶないだろ。入ってくるんじゃない」

おじちゃんにおこられた。

でも、ひみつきちなんだ。

ひみつの入り口があるんだ。

「うわあ。すごい」

ぼくはちかくの森からひみつきちに入って、じゃりの上にのぼった。

だれにもおしえないぼくのひみつきちだ。

ダンプカーがあんなに小さい。

ショベルカーも。

こんなにたかいところなんてはじめてだ。

アイスのさいごの少しを口の中におしこんで、すわるとすくく広いお空が見えた。

「うわぁ。ひろいな。すごくあおいな」

ひこうきがお空の上をとおっていく。
かっこいいな。

ぼくもいつかはひこうきにのってみたいな。

「おーい、坊主。なにしとるんだ。そこから降りろー」

またおこられちゃった。

ここはぼくのひみつきち。

たからものをいっぱいもってこよう。

ここをたからものにしよう。

お父さんとかお母さんにはないしょだよ。

だって、ひみつきちだからね。

大きくなっても、ここはずっとひみつきち。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7685m/>

ぼうけんにつき

2010年10月21日23時26分発行